

**東海大学医学部付属病院では、  
受診時に患者さんから得られた試料や診療情報等を  
共同研究機関に提供して下記の臨床研究を行っています。**

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」にて病院長の承認を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化处理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

**【研究課題名】**

2型糖尿病症例における GLP1 受容体アナログ薬投与による腎への影響についての後ろ向き調査研究

**【研究の目的】**

下記の診療情報等を利用し、2型糖尿病症例における GLP1 受容体アナログ薬投与による影響について検討することを目的とした共同研究を実施するためです。

**【研究の対象となる方】**

2010年6月1日から2020年6月30日までの間に、当院の腎内分泌代謝内科で2型糖尿病に対し、GLP1受容体アナログ薬（商品名：ビクトーザ®、バイエッタ®、リクスミア®、トルリシティ®、ビデュリオン®、ゾルトファイ®）を1年以上継続投与中の方が対象です。GLP1受容体アナログ薬を開始した時点から2020年6月30日の検査結果について調査を行います。

**【利用期間（研究実施期間）】**

臨床研究審査委員会承認日 から 2022年10月31日 まで

**【研究に用いる試料・診療情報等の項目】**

- ・診療情報等：研究担当者が、対象となる方の診療記録（カルテ）や検査データの情報を調査・集計し、GLP1受容体アナログ薬の投与の影響について検討します。
- ・試料：なし

**【情報の提供先・提供方法】**

上記の診療情報等を2型糖尿病症例における GLP1 受容体アナログ薬投与の腎への影響の解析のために、研究代表施設 内科クリニックこばやしへ郵送にて提供します。

### 【利益相反に関する事項】

この研究は、研究責任者が所属する神奈川県内科学会 高血圧・腎疾患対策委員会の研究資金により実施されます。特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

### 【共同研究の研究代表機関及び研究代表者】

- 研究代表機関：神奈川県内科医学会 高血圧・腎疾患対策委員会
- 研究代表者：佐藤 和義

### 【研究分担施設及び各施設】

神奈川県内科医学会会員もしくはそれに所属する医師

### 【問い合わせ先】

東海大学医学部附属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2490）

研究責任者・問い合わせ担当 腎内分泌代謝内科 豊田 雅夫